別紙２

**自立支援機器イノベーション人材育成事業 事業計画書**

|  |  |
| --- | --- |
| 実施団体名 |  |
| 代表者名 |  |
| 所　在　地 | 〒 |
| 事業担当者（職　名） |  |
| 連　絡　先 | TEL：Mail： |

|  |  |
| --- | --- |
| 国庫補助申請予定額 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　千円 |
| 事業実施期間 | 令和　　年　　月　　日　　から　令和　　年　　月　　日 |
| 事業計画概要（300字程度） |  |

**１．事業**

１）**事業の運営体制とその役割**

|  |
| --- |
|  |

２）事業目的・目標と想定される成果

　※事業によって想定される成果について具体的に記載すること。

|  |
| --- |
|  |

３）事業計画

　※事業の実施が複数月にわたる場合は、適宜、矢印等を活用するなど記入方法を工夫すること。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 事業実施内容 |
| ４月 |  |  |
| ５月 |  |  |
| ６月 |  |  |
| ７月 |  |  |
| ８月 |  |  |
| ９月 |  |  |
| 10月 |  |  |
| 11月 |  |  |
| 12月 |  |  |
| １月 |  |  |
| ２月 |  |  |
| ３月 |  |  |

**２．ワークショップの内容等**

１）デザインアプローチによる人材育成支援（ワークショップ等）の内容

※障害者自立支援機器の開発に特化したワークショップの内容にすること。デザインアプローチ及びこれまでの実績を踏まえた効果的なワークショップであることが容易に理解出来る内容であること。

|  |
| --- |
|  |

２）デザインアプローチによる人材育成支援（ワークショップ等）の手法

（１）ワークショップ参加者の募集方法およびその周知

|  |
| --- |
|  |

（２）ワークショップのプログラム内容

|  |
| --- |
|  |

（３）ワークショップにおける成果

　※想定される成果（参加者の習熟度合等）と成果の定量的な評価手法についても併せて記載すること。

|  |
| --- |
|  |

（４）ワークショップ開催における実施体制

|  |
| --- |
|  |

（５）ワークショップ開催後のフォローアップ方法

|  |
| --- |
|  |

**＊作成上の留意事項（提出の際は、以下の留意事項は削除すること）**

１）本事業は、障害者の為の自立支援機器開発に特化した内容とすること。

２）本応募書類は、採否を決定するための評価に使用するものであり、応募内容については、デザイン思考を用い事業化の視点から支援機器開発プロセスを会得できる人材の育成に資する事業内容であること。

３）「国庫補助申請予定額」については、自立支援機器イノベーション人材育成事業の実施にあたり、必要とする費用について記載すること。ただし、千円未満は切り捨てとする。

４）「事業実施期間」については、年度末日を最長として報告書作成等を含む予定期間について記載すること。

５）本事業で得られた情報及び成果等について、広く国民に向けてわかりやすく公表することを念頭に記載すること。